

日時： 2010年2月8日(月) 18:30~20:45

場所： ハートピア京都<4階>第4会議室

- 議題： 1. 定例公開 mini フォーラム開催について  
2. 議題チームサポーター設置について  
3. 100人委員会共汗メーリングリスト設置について  
4. 今後の勉強会の案について  
5. 第4回定例会議の振り返り(アンケートから意見抽出と対応案)  
6. 各議題チームの進捗報告など  
7. 第5回定例会議のプログラム案(+勉強会)について  
8. その他

参加者：幹 事：平井、上原、船戸、美濃部

リーダー：おもてなし/吉見、福祉/西(サブリーダー)、京都を豊かに/萩原(代理)・木村(サブリーダー)  
人づくり/白井・村木(サブリーダー)、山紫水明/中園、のりもの/尾形  
にこわく/佐藤、外国の方/大西、歩きやすい道/田村 (敬称略・順不同)

事務局：嘉村、山口、片桐、西尾、飯田、奥園、松葉、佐原、保田

## 議事概要 (▽印は議事の説明、・印は出された意見)

### 1. 定例公開 mini フォーラム開催について

▽まず議長より、各チームに対してフォーラムについての検討状況の確認があった。「山紫水明」チームが3月のフォーラム開催を立候補した。開催する方向であるが時期が確定していないチームが「おもてなし」「のりもの」「京都を豊かにする」の3チームであった。まだ議論がされていない、あるいはチーム内で希望がないチームが、「人づくり」「にこわく」「外国の方」「歩きやすい道」「福祉のコミュニティ」であった。

▽続いて今後どのようにフォーラムを開催していくかについて議論した。

- ・多くの傍聴者が来ることになるが、事務局としてどのように対応しようとしているのか。
- ・傍聴者に告知ツールとしてどのようなものを用意していくか。
- ・傍聴者に告知するツールを作るために、新たなチームの負担は増えないか。
- ・(事務局の回答) 議題チームの紹介の配布や掲示板で傍聴者に情報提供する。事務局が作る共有シートを活用するのでチームの負担にはならない。
- ・チームによっては傍聴を断るといってもよいのか。
- ・見学は自由だがチームでの発言についてはチームによって有無が分かれてもいいと思う。
- ・発言はチームの議長の許可を得てからするなど、傍聴者にしっかりと傍聴のルールを説明すべき。
- ・(事務局の回答) ホームページに書いてあるルールを受付でも配るなどして対応している。
- ・フォーラム後に発表チームと意見交換ができるよう別室を用意できるか。
- ・傍聴者がどんな人でどんな関心を持っているか、どんな専門性を持っているかなどの情報があればうれしい。
- ・傍聴者に今までの議論を説明するために成果報告書をバラしてチームの席に置いて欲しい。
- ・(事務局の回答) 意見交換のために小会議室を確保できる。傍聴者の情報はできる範囲で提供する。報告書のコピーは設置したい。
- ・道端でフォーラムを開催するという事は可能か。

- ・（事務局の回答）定例公開ミニフォーラムの枠では難しいと思う。

▽議題チーム用に「傍聴者の受け入れの手引き」を事務局で作成することになった。

▽3月にフォーラムを開催する山紫水明チームから説明を受けたのち、呼びかけについて全体で協力することが確認された。また、事務局がチームと協力して、広報のためのメールなど、各種の広報ツールを作るようになった。

## 2. 議題チームサポーター設置について

---

▽事務局から説明ののち、質疑に入った。

- ・サポーターとなることで何が傍聴者と違ってくるのか。
- ・サポーターはチームメンバーと同等の発言権があり、傍聴者は一定の制限があるということが違いと言えるのではないか。
- ・このサポーターをつくる意図は何か。
- ・サポーターとする基準はどうなるのか。
- ・無制限にサポーターが拡大するということは、よくないのではないか。
- ・委員が別の議題チームのサポーターになることはできるか。
- ・サポーターに交通費などは支給されるか。
- ・傍聴者とサポーターを分けることで、傍聴者が発言を求めにくくならないか。
- ・チームとして待ちの姿勢で臨むものなのかを明確にしてほしい。
- ・これまでのチーム議論の蓄積を考えると、サポーターとは、議論に参加する人というよりも、共通の意識・目的を持ってチームと共に汗を流せる人という位置付けではないか。
- ・（事務局の回答）100人委員会により多くの人を巻き込み行動していくために設置したいと思う。チームが主体的に、必要としている人、入ってほしい人に入ってもらおうということを考えている。サポーターとなることで「お客さん」を「仲間」にしていくことができると考える。委員が別チームのサポーターになるということは現時点で考えていない。交通費は支給しない。

▽事務局の提案があいまいであり、まず位置づけの説明を明確にすべきであると指摘された。将来ビジョンなどについても説明できるよう、事務局が再度整理して提案し直すことになった。

## 3. 100人委員会共汗メーリングリスト設置について

---

▽事務局からの説明の後、質疑に入った。

- ・委員同士のコミュニケーションツールなど、ホームページの充実が求められてきた中で、なぜこれが提案されてきたのか。
- ・ホームページとの違いがよくわからない。
- ・たくさんのメールが流れてくるのは迷惑にならないか。
- ・メルマガのようなものなのではないか。
- ・市民の情報を求めることに主眼があると解してよいか。
- ・市民活動の情報を得るツールとして設置しても良いと思う。
- ・いいことだと思うが100人委員会ですべき必要性がわからない。
- ・かつて京都市が設置していた電子会議室についても研究してほしい。
- ・（事務局の回答）双方向に発信でき、100人委員会の活動を含めた京都市内のまちづくり情報があふれるMLを目指している。希望者が加入する形にする。京都府の地域力再生MLのようなイメージを持っている。

▽意見が出された後、ホームページのリニューアルを優先させながら、それとあわせて再度提案を求めることに決まった。

#### 4. 今後の勉強会の案について

---

▽事務局からの説明の後、質疑に入った。

- ・全体としての基本的な考え方を示して欲しい。
- ・事務局としては、勉強会は知識講座的なものではなく、チーム運営に役立つような内容をやりたいと考えているという理解でよいか。
- ・3～9月の具体的なスケジュールを示して欲しい。
- ・リーダー幹事会議でどの勉強会がいいかというのを選ぶというのはできないのでは。

▽事務局はリーダー幹事会議のこれまでの議論を踏まえて、体系的に勉強会の計画を出すことになった。

#### 5. 第4回定例会議の振り返り（アンケートから意見抽出と対応案）

#### 7. 第5回定例会議のプログラム案（+勉強会）について

---

▽一括して事務局から説明した。

- ・昨年はチーム活動費があったが、今年もあるのか。
- ・（事務局からの回答）必要があれば、担当事務局に相談してほしい。
- ・最初の全体集会などで、100人委員会の議論が、京都市の新しい基本計画に反映されているこということを情報提供してほしい。

#### 6. 各議題チームの進捗報告

---

京都を豊かにする／定例公開miniフォーラムの開催を、現在検討中のゼストで開催の公開フォーラムに向けたプロセス及び100人委員会内で広く意見交換を行なう場として検討中である。  
歩きやすい道／4月末に西宮市で開催されるペチャクチャナイトに参加予定。一緒にやるチームを募りたい。

▽歩きやすい道チームの提案については事務局で整理することになった。

#### 8. その他

---

▽H22年度からのボランティア保険の加入について事務局より説明した。

▽次回「リーダー・幹事会議」日程：3月8日（月）で決定 18:30～ ハートピア京都4階第4会議室